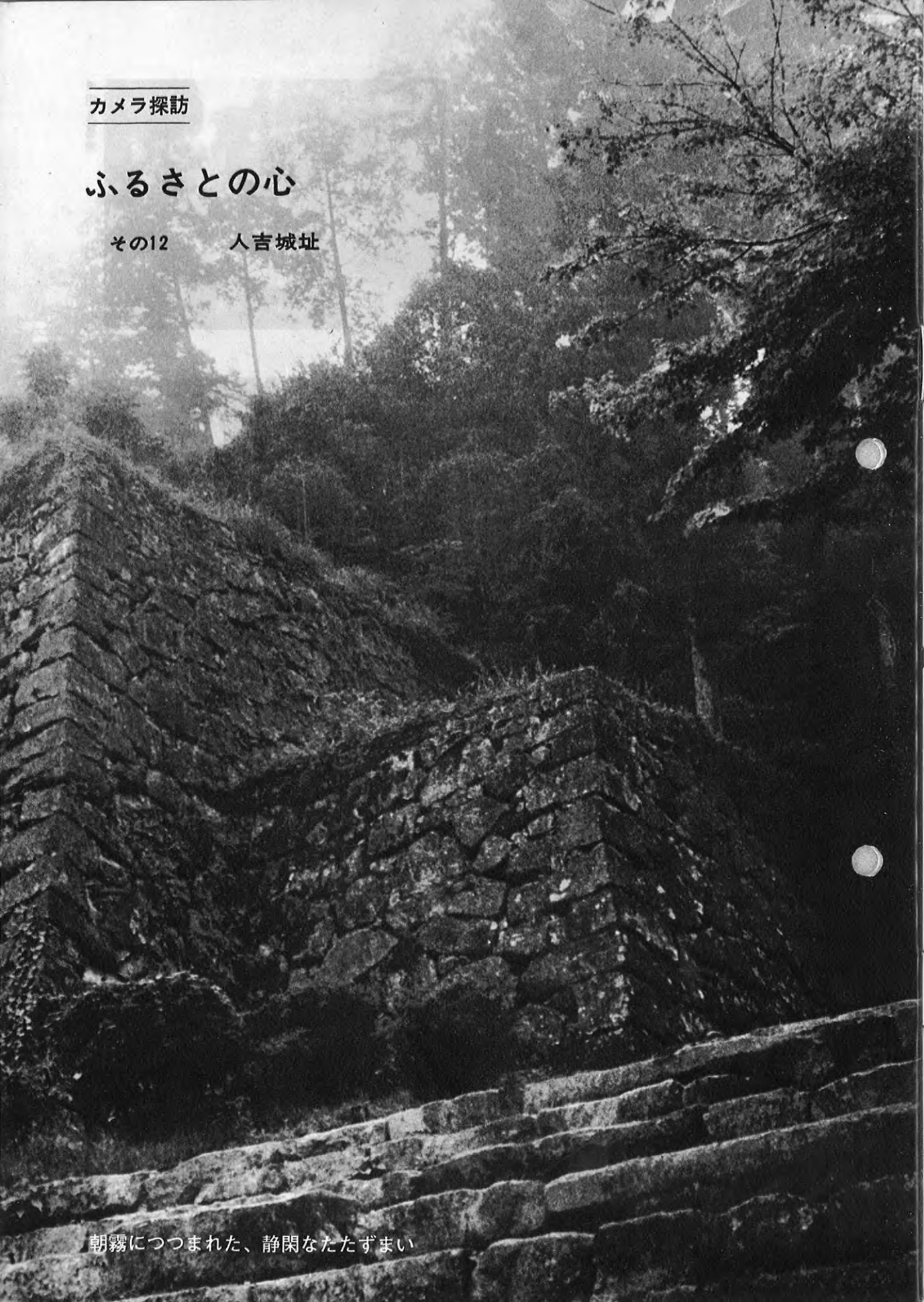


ふるさとの心

その12 人吉城址



朝霧につつまれた、静閑なたたずまい



楽しくやっています

桑本範夫

ホテル、そこで働くホテルマン。一般のサラリーマンと違い、朝日で目覚め、夕日とともに帰宅というように規則正しいものではありません。そこを訪れる人々も様々です。(居ながらにして、その頃のファッションが知れる程に) 生きている人です、その時々感情も異なり、来店目的も違うでしょう。それらの人々と接するに、我々も生身の人間、しかもまだ若い。腹を立てたり、がっかりしたり、ときには恥をかくことも。

個々のお客様に満足していただくことは至難のことだ。一見くだらない仕事のように思われがちだが、我ながら面白い仕事を選んだものだと思ひ、今は楽しく仕事をしております。

もう東京へ出て三年余になります。今も寮生活です。時には不便を感じることもあるけれど、いたって気楽なもの、人が言う程、嫌やなものでもない。町へ出かけるのも容易だし、日頃の忙がしさを忘れて、自然と親しむにも、電車に二時間も揺られていれば、富士、伊豆、軽井沢、又は日光など素晴らしいところへ気軽にゆけます。

仕事の関係上、意外と自分の時間が持てるのは助かる。本屋へ出かけては何かを探して夜おそくまで読みふけています。

又、月に一・二度、汗をながしに、ラケットを手にして、コートをかける。楽しいですね。

昭和四十三年三月九州学院高等学校卒
勤務先 ホテルパシフィック東京